

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フラワーきっずのびるこ		
○保護者評価実施期間	令和7年 7月 18日		～ 令和7年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和7年 7月 18日		～ 令和7年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 8月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・未就学児を対象とする児童発達支援のみの事業所のため、年齢や発達程度の近い子どもが利用しています。楽しくのびのびと過ごせる環境のなかで、安心して預けたいことができそうです。	・未就学児の安全と安心を最優先に考え設計された発達支援室に、未就学児の療育に適した玩具や、手作りのツール類を豊富に揃え、様々なことに挑戦できる環境を整えています。	・一人一人の子どもの成長や発達に合わせて、玩具やツール類を随時増やしていきます。
2	・小集団で創作活動や生活体験等を行い、生活スキルや社会性を身につける療育を軸にしつつも、個々の特性や発達段階に合わせて個別療育を組み合わせ、能力や強みを伸ばしています。	・一人一人の発達状態や課題に合わせた活動を考え提供するとともに、都度振り返りを行い、次回の活動に活かすなど、手厚い支援を行っています。 ・発語がない子どもには、絵カードや写真を用いて視覚で伝えることを心がけています。	・ソーシャルスキルトレーニング(さまざまなプログラムを通して対人関係など社会生活に必要なスキルを学んでいく支援)を強化していきます。
3	・東邦ガスグループで障がい者の雇用促進を担う東邦フラワー(株)が経営し、保育、介護や育児など、多様な経験を持つ職員が揃っている事業所のため、豊富な情報や経験でご家族の不安や悩みに寄り添いながら、様々なアプローチで、一人一人に適した療育メニューを提供することができます。	・活動プログラムが固定化しないよう、運動や製作など様々なメニューを取り入れています。また、季節に合わせた製作や行事も取り入れ、情緒を育みながら、社会性を身につける活動を行っています。 ・保護者の方々が、日々の困りごとなどを気軽に相談できるような関係作りを心がけています。	・職員が保護者の方と直接お話しする機会を増やし、家庭の様子や、事業所での活動や成果をより丁寧に共有することで、療育の効果を高めつつ、安心してご利用いただけるようにしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・言語聴覚士等の専門職員が在籍していません。	・現状の事業所の規模では、専門職員を追加で配置することは難しい状況です。	・職員のスキルアップを図るとともに、外部から専門職員を招いて、職員の研修や保護者との相談会等を行うことも検討していきます。
2	・事業所内での活動が主で、外出機会が少なく、地域との交流が少ないと認識しています。	・子どもの安全を守るための人員体制や、時間の確保が難しい状況でした。	・9月に職員が増える予定のため、今後は外出機会を増やし、子どもたちに公共マナーを教える場を増やしていく予定です。
3	・ホームページは開設しているものの、情報発信が少ないと認識しています。	・情報発信に手が回っていませんでした。	・利用しているポータルサイトのブログ更新を適宜行うとともに、自社ホームページでの情報発信を更に進めていく予定です。